

■米国：スリーマイル島 1 号機が恒久停止し稼働原発 96 基に

スリーマイル島原子力発電所 1 号機（PWR、ペンシルベニア州）は 2019 年 9 月 20 日恒久停止し、約 45 年に及ぶ運転に幕を下ろした。これにより米国内で稼働中の原発は 96 基となった。同発電所は経済的な理由から 2017 年 5 月に、2019 年 9 月で恒久停止することが所有するエクセロン社により発表されていた。その後、立地するペンシルベニア州の原子力支援策の成否により運転を継続することも検討されていたが、現時点でも同支援策は成立しておらず、今回の恒久停止に至った。同州には 8 基の稼働中原発があるが、そのうちのビーバーバレー発電所 1 号機、2 号機も同支援策が成立しない場合、2021 年で恒久停止することを所有するファーストエナジー社が既に発表している。スリーマイル島 1 号機の恒久停止にあわせ、州議会下院議員 3 名やコミュニティ、関連会社の代表を含む数百名が、気候変動・雇用確保対策の観点から同支援策の成立とビーバーバレー1、2 号機の恒久停止回避を求め、ビーバー郡の裁判所において集会を行った。